

**民事訴訟法** (配点 40 点)

**【問題】**

以下の【設例】を読んで、各【設問】に答えなさい。

**【設例】**

X は、Y を被告として、本件建物につき、所有権に基づく明渡請求の訴えを提起した。

第 1 回口頭弁論期日において、X は、本件建物の前主 A から本件建物を買受けたと主張したが、Y は本件建物の前主は A であることは認めたものの、A は B から 1,000 万円を受け取ったことから、本件建物を A から買受けたのは X ではなく B であると主張した。

これに対し、X は、A が B から 1,000 万円を受け取ったとの事実を認めたが、これは B の A に対する貸金債務の返済のためであり、本件建物の売買代金の支払いのためではないと争った。

**【設問 1】 (配点 15 点)**

主要事実とは何か、間接事実とは何か、それぞれ説明し、本設例における主要事実、間接事実を摘示しなさい。

**【設問 2】 (配点 5 点)**

X は、A が B から 1,000 万円を受け取ったとの事実を認めている。この訴訟上の意味を述べなさい。

**【設問 3】 (配点 20 点)**

裁判所は、証拠調べの結果、A が B から 1,000 万円を受け取った事実は存在しないと認定し、本件建物を買受けたのは B ではなく、X であると認定することはできるか。

以上